

令和3年度第1回天童市総合教育会議議事録

総務部総務課

1 日時 令和3年10月29日（金） 午前9時25分から午前10時30分まで

2 場所 本庁舎「3階会議室」

3 出席者

(1) 出席構成員

天童市長	山本信治	教育長	相澤一彦
教育委員	村山晴香	教育委員	松村昌子
教育委員	大内あゆ子	教育委員	工藤昭広

(2) 説明のため出席した者の職氏名

教育次長	武田文敏	学校給食センター所長	大沼敦
学校教育課長	町田真裕	生涯学習課長	矢萩茂
教育総務課課長補佐兼庶務係長	蜂谷幸太		

(3) 事務局職員の職氏名

総務部長	佐藤雅	総務課長	熊澤輝
総務課課長補佐兼行政係長	佐藤貴宏		
総務課主事	佐藤穂乃佳		

4 議事録署名員 教育長 相澤一彦

5 次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 協議・調整事項

ア 天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について

イ 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について

(ア) 中学生副読本「市民科」の内容及び今後の活用について

(イ) 学校におけるタブレット端末等ICT機器活用の現状について

(4) 閉会

6 会議の内容

発言者	発言内容
佐藤課長補佐 (司会)	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(1) 山本市長</p> <p>(2) 相澤教育長</p>
山本市長	<p>3 協議・調整事項</p> <p>それでは議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>まず、天童市総合教育会議運営要綱第4条第2項の規定により、議事録署名員を指名させていただきます。</p> <p>相澤教育長にお願いしたいと思います。</p>
相澤教育長	<p>はい。</p> <p>(1) 天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について</p>
山本市長	<p>最初に、「天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について」説明を求めます。</p>
武田教育次長ほか	<p>(資料に基づき説明)</p>
山本市長	<p>ただ今説明がありましたが、皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
大内委員	<p>学校訪問時に、子どもたちがタブレットを集中して楽しく使っていたのだが、姿勢が気になった。姿勢が悪くなることや視力の低下が懸念される。タブレット学習の後、姿勢を整え、目を閉じて深呼吸をする時間を5秒でいいから設けてはどうか。</p>
山本市長	<p>姿勢、視力の問題には、教育現場でも真剣に取り組む必要</p>

	<p>があると思う。</p>
村山委員	<p>寺津小では、実験の様子を動画で撮って何度も見るなど、道具として活用できていてよかった。</p> <p>英語が身近になっていて、英語が好きな子どもが増えるのではないかと感じている。</p>
山本市長	<p>今日の新聞にも掲載されていた。県のICT教育推進校として取り組んできた成果と思う。</p>
松村委員	<p>英語教育に関連して、人権を尊重した教育をしていただいている。異文化を大切にすることは、日本文化を大切にすることにつながる。英語とともに、日本語をよりしっかりと学んでいく必要があると思う。</p>
相澤教育長	<p>日本の良さ、文化、そして天童の良さも発信していきたい。</p>
工藤委員	<p>コロナ禍の休校で遊びにも行けず、家に居場所のない子どもが増えているように感じる。スクールソーシャルワーカーは親身になって相談に乗ってくれていると思う。</p> <p>学校では、若い先生とベテランの先生の年代差が開いており、若い先生たちはだれに相談してよいかわからない状況。指導主事に指導いただくことで伸びていくのではないかと感じている。先生たちが伸びれば、それが子どもたちに返ってくると思う。</p>
山本市長	<p>他にございますか。</p> <p>(特になし)</p> <p>(2) 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について</p>
山本市長	<p>次に、「教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について」の ア「中学生副読本「市民科」の内容及び今後の活用について」と、イ「学校におけるタブレット端末等ICT機器活用の現状について」説明を求めます。</p>

	(資料に基づき説明)
山本市長	ただ今説明がありましたが、まずアについて、皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。
大内委員	子どもたちはタブレットで読むとのことだが、音声による読み上げ機能はあるか。
武田教育次長	今のところはない。
山本市長	子どもたちがあまり使わないと思われる方言が使われているが、どうなのか。
相澤教育長	現場の声を聞きながら、必要であれば修正を加えていきたい。
松村委員	方言を用いることによって方言への興味につながるのではないかと思う。
村山委員	中学校を卒業しても、子どもたちの記憶に残るものになればうれしい。
工藤委員	タブレットで読むということなので、動画を加えてもらうと、より興味が湧くのではないか。大人も興味を惹かれるものになると思う。柔軟に更新していくことが大切。
武田教育次長	データなので更新は毎年でもできる。容量の関係もあり、リンクから動画を見られる仕組みをとっている。
松村委員	障害のある方も読めるような活用の方法を今後検討してほしい。
山本市長	次にイについて、皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。
大内委員	I C T機器を用いて、Z O O Mでの交流が行われており、

	<p>非常に良いことと思う。</p>
<p>村山委員</p>	<p>子どもが行った場所の動画を撮影、編集してCMを作成したものを、家に帰って親に見せてくれる。</p>
<p>山本市長</p>	<p>タブレットを持ち帰っていない学校もあるようだが。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>以前は持ち帰っていなかった学校もあるが、今はどの学校も持ち帰っている。</p>
<p>山本市長</p>	<p>これまでに破損した数は。</p>
<p>武田次長</p>	<p>本体が40台、カバーが10個程度。</p>
<p>相澤教育長</p>	<p>ある小学校では、机に落下防止のカバーのようなものを取り付けたら、タブレットが机から落ちることがなくなり、壊れることがなくなったと聞いた。破損への対策はとれると考えている。</p>
<p>山本市長</p>	<p>他にございますか。</p> <p>(特になし)</p> <p>4 閉会</p>